

医療用物質生成器－マイナスイオン生成器

『医療用物質生成器－マイナスイオン生成器』は世界No.1レベルの生成器(/2400万ions/cc)であります。

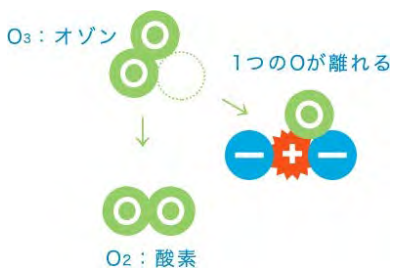
【参考値】 (単位 ions/cc)

山林部	: 700 以上
噴水(新宿)	: 780
風の吹き抜けるオフィス街	: 380
滝壺(10m離れた位置)	: 4730
森林地域	: 1800

そのイオンの力で、空気中の埃や菌を除去してくれる効果(抗菌、抗ウィルス、防カビ、脱臭効果)があります。また体の中の活性酸素を除去してくれる効果もあり、血液をサラサラにしてくれます。

除菌・殺菌・脱臭のしくみ

マイナスイオンは、空気の振動によりプラスイオン化された有害物質に働きかけ結合します。結合した微粒子はこの結合を繰り返すことで重くなり、落下します。「滝風」から発生したオゾンが、結合した微粒子に付着し、有害物質を酸化させ除去(除菌・殺菌)します。このようなマイナスイオンとオゾンの働きにより、汚染された空気が浄化されます。(オゾンの発生量は自然界にあるオゾンの量と同じですので安心です。)



自然界の浄化作用を利用

自然界では太陽光により低レベルのオゾンが発生し、空気中に約0.025ppmの濃度で存在します。オゾンの働きが空気を爽やかにし、人間に快適な環境を提供してくれます。

このオゾンとは、酸素原子3個から構成される不安定な分子です。オゾンが汚染物質にぶつかると、ひとつのOが汚染物質に吸着し、その強い酸化力で除菌・殺菌します。その後「無害で自然な酸素」に戻り、残った2つのO(O2)も、新鮮な酸素になります。

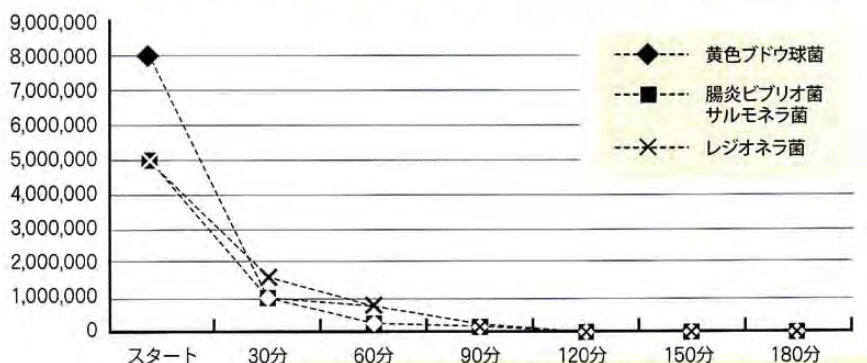
1 抗菌・抗ウィルス効果

オゾン(O₃)は殺菌や消臭でよく知られています。オゾン発生器は病院などでよく使われていたりして殺菌・除菌などに有効です。マイナスイオンを発生させると同時にオゾン(O₃)も発生してしまいます。マイナスイオンを多く発生しようとするとうオゾンも多く発生してしまうわけです。つまり体にとってもいいマイナスイオンとオゾン(O₃)は盾(たて)と矛(ほこ)の関係でもあるわけです。

マイナスイオンを多く発生させ、オゾンをできるだけ少なくするということがマイナスイオン発生装置の理想のかたちです。その理想の形を滝風イオンメディックは実現しました。まさにこの技術こそがマイナスイオン生成器の人気の秘密といっても過言ではありません。

たった2時間で除菌!

※株式会社日本微生物研究所にて試験
(平成15年3月24日)



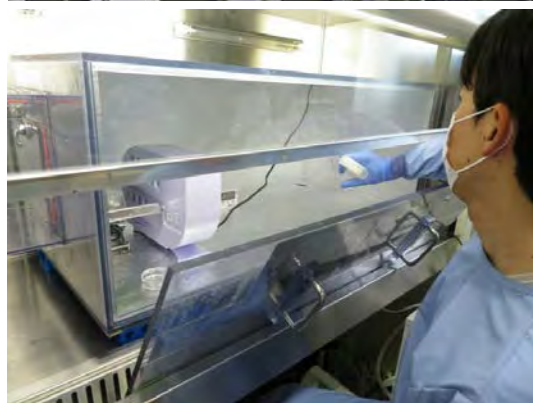
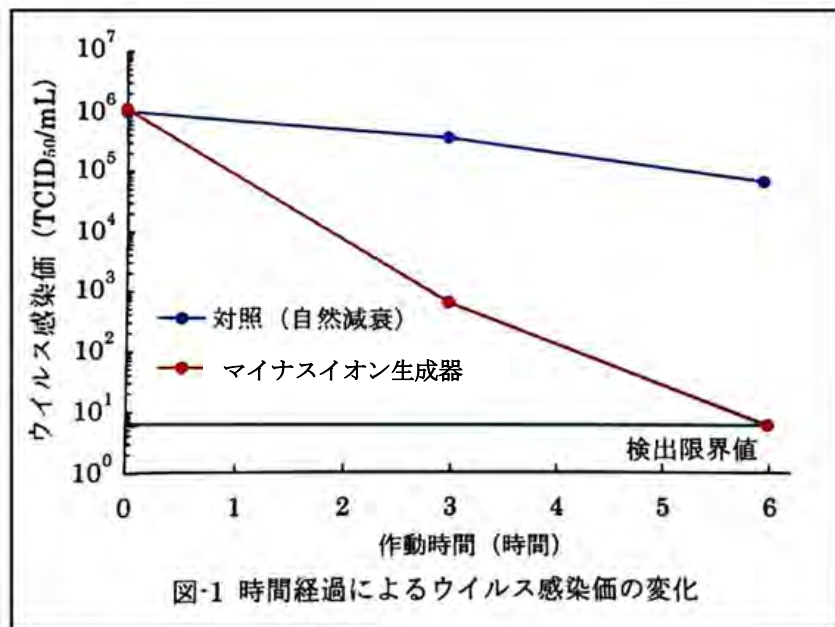
◆ 除菌の原理

オゾンの強い酸化力により細菌・ウィルスの細胞膜を壊し、それらの酵素から瞬時に水素を抜き取り分子構造（生物構造）を破壊します。

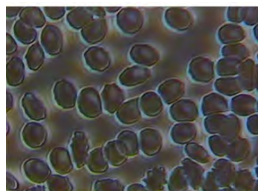
◆ インフルエンザ対策に有効だと証明されました

北里大学北里環境科学センターウィルス科のご協力により、マイナスイオン生成器の除菌・殺菌効果が実証されました。

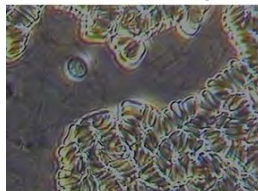
2018年4月9日、インフルエンザに特化した試験を実施。空気清浄機の室内付着ウィルスに対する抑制性能評価試験法において「浮遊インフルエンザウィルスの試験」「付着インフルエンザウィルス不活化試験」を行った結果、共に効果が認められました。



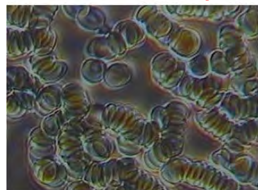
同じような効果を唄った他社製品もありますが、他社のものはマイナスとプラスイオンを同時に出して菌を殺す効果がありますが、このマイナスイオン生成器はマイナスイオンだけを出す設計になっているため、はじめから効果が全く違います。ちなみに他社のものをすべて撤去してこのマイナスイオン生成器に入れ替えた病院や介護老人ホームもあります。



サラサラ血液



ドロドロ血液



ネバネバ血液

② 血液サラサラ効果

病気は、呼吸で取り入れられた酸素のうち、わずか1パーセントが活性酸素になり、体が酸性になることにより起こるという研究結果があります。ガンは、この生体組織の酸化が原因で起こる代表的な病気で、活性酸素によって遺伝子DNAが切断され、発ガン物質が発動したものです。ガン細胞は、血行が悪く、酸素が十分に行き届かない部分に発生しやすいのです。さらにガン細胞自体が乳酸を大量に吐き出して血液の酸性化を促進し、白血球などの免疫機能を酸化してその働きを弱めてしまいます。免疫機能は、正常な細胞と同様、血液が弱アルカリで還元状態にあり、サラサラで流れがよく、免疫細胞の中にたくさんの電子を抱えた還元状態の時に、最も高いパワーを発揮します。乳酸が多い状態では、血行が悪く、活性酸素を電子で消してしまうこともできないため、悪い細胞を退治することが出来なくなっているのです。また、糖尿病や高血圧などの生活習慣病も生体膜や細胞膜が活性酸素によって損傷を受けるのが原因だと考えられています。日常の生命活動で生まれてくる活性酸素による酸化した体を常にマイナスイオンで弱アルカリ性にしておくことが病気にならない秘訣ともいえるわけです。

③ アレルギー抑制効果

現代人を悩ますアレルギーの原因は様々です。激しい喘息やアトピー性皮膚炎を引き起こすダニの繁殖は、特に日本の高温多湿の気候に加え、気密性の高い建築になってきたということが一因として挙げられます。実生活に密接に関係する室内の家のダニの増減について実験を行った結果、マイナスイオンを発生させた部屋とそうではない部屋でダニ発生の測定をした結果、マイナスイオンを発生させた部屋では約2.4倍にあたるダニが減っていました。つまりアトピー性皮膚炎や喘息に画期的な効果をもたらすのがマイナスイオンなのです。血液が酸性の人は、皮膚がマイナスに帯電していて、空気中のプラスイオンを皮膚につけやすく、ますます酸性体質になります。そしてますますアレルギー・アトピーがひどくなります。アトピー性皮膚炎は、ダニアレルギーの一種です。マイナスイオン発生装置（滝風イオンメディック）で、かゆみのある部分に直接マイナスイオンを吹き付けると、15分～20分程度で、皮膚表面のプラスイオンが中和され、活性酸素が消えてしまうので、かゆみが緩和され、非常に楽になります。

④ 電磁波抑制効果

脳内にはメラトニンを合成する器官があり、脳下垂体から成長ホルモンを分泌させます。電磁波はメラトニンの合成を妨げたり、脳内物質を神経細胞に伝達させる機能を持つことがわかってきました。携帯電話を使いすぎると大脳の水分を電子レンジと同じように発熱させてしまい、大脳のタンパク質の変性や脂質分の酸化を起こしてしまいます。「酸化→病気」へと移行させてしまう原因にもなります。電磁波の影響を少しでも少なくしたり、影響を受けてしまった体のメンテナンスのために、体の酸化や大脳の酸化を効率よく改善するマイナスイオンが現在考えられる予防策として最も効果的です。

◆ 製品仕様

品名	医療用物質生成器－マイナスイオン生成器
型式	UPD201105
製造国	日本 Made in Japan
外形寸法	幅300×奥行79.5×高さ220 (mm)
本体材料	難燃ABS (UL94V-O)
重量	1,700 g (片手で持てるA4サイズ)
電源	AC100V(50/60Hz)
定格消費電力	10W
放電方式	コロナ無声放電(イオンターボチャージャー方式)
発生イオン濃度	200万ions/cc以上(各吹き出し口)×12
発生オゾン濃度	0.020ppm以下(室内の環境により多少の変動があります)



JISの測定でも最高の"クラス6"を日本機能性イオン協会より認定を受けております。

